

会長就任あいさつ

全日本中学校長会長 直田 益明

ただいま、全日本中学校長会第41代会長としてご承認いただきました、東京都世田谷区立芦花中学校長の直田 益明でございます。新役員を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日ここに、皆様のご承認をいただき大役を仰せつかりましたことは、身に余る光栄に存じます。そして、それと同時に全日本中学校長会の会長としての任務の重さに、身の引き締まる思いがしております。何分微力ではございますが、全国の公立中学校長からなる本会の目的を達成するため、誠心誠意、会長としての責務を果たしてまいり所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

全日中会長就任を機に、改めて本会の意義を確認いたしますと、昭和52年5月26日に制定されました、全日本中学校長会綱領の冒頭には、「われわれは 校長の使命に徹し 結束して中学校教育の振興に努め もって国民の信託に応える」とあります。また、本会の目的は、「全国各都道府県中学校長会相互が緊密な協調を保ち、中学校教育の振興を図り、国家社会の発展に寄与することを目的とする」と会則に謳われております。そして、会長の任務は、「本会を代表して会務を統理する」とあります。つまり、全日本中学校長会は、中学校教育の充実発展を図り、会長の任務は全国の中学校長会相互の緊密な協調を図り、それをまとめていくことが求められるということでもあります。これらを全うしていくためには、副会長はじめ各理事の皆様、そしてすべての会員の皆様のご理解・ご支援が不可欠です。ぜひ、皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

ここで、当面、全日本中学校長会として取り組んでまいりたいと考えていることを3点述べさせていただきます。

第1点目は、国の動きに対する対応であります。

知識基盤社会の到来と情報通信技術の急速な発展、社会・経済のグローバル化や少子高齢化の進展など、我が国の社会は大きく変化しています。教育界においても、義務教育学校などの制度構築、チーム学校やコミュニティ・スクールの推進等、さまざまな教育改革に向けた動きがある中で、教育再生実行会議からは、昨年5月に第9次提言が示され、また今年3月には文部科学省から次期学習指導要領が告示されました。次期学習指導要領につきましては、小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面実施の予定となっております。今後は、次期学習指導要領の理念の実現に向け、今まで以上に様々な工夫が必要となってまいります。また一方では、学力向上、いじめ・不登校等の諸課題への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用をはじめ、複雑かつ多様な課題に対応することも求められています。

こうした状況において、私たち全日中が、中学校教育の現状を踏まえた意見をし

っかりと述べていくことが肝要と考えております。今までの学習指導要領の策定におきましても、全日中は大きな役割を果たしてまいりました。私たちは、次期学習指導要領の全面実施に向けても、これまで全日中が果たしてきた役割を継承し、学校からの教育改革を推進していくべきものと考えております。このことが、正に、国民の信託に応えるものであると確信しております。

2点目は、「全日中教育ビジョン」の推進です。

全日本中学校長会は、平成21年10月に全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を提示・公表しました。この教育ビジョンは、行政主導のいわゆる上からの改革でなく、教育の実践的専門家にして学校の最高責任者である校長が、自らの明確な改革ビジョンを持って積極的に学校からの教育改革に迫ろうとするものです。当時の「全日中教育ビジョン」の巻頭言において、第33代会長の岩瀬正司先生は「学校の最高責任者である校長自身の教育改革・学校改革の指針が出来上がった」と述べています。当時のものから数回の改訂を経て、現在の教育ビジョンになっておりますが、今年度も、全国各都道府県の中学校長会と緊密な連携・協調を図り、全日中教育ビジョンの具現化に取り組んでまいりたいと考えています。

3点目は、全日中の組織と機能を生かした組織運営の充実であります。

会則には、本会の構成は各都道府県中学校長会の連合体であり、先ほども述べましたが、全国各都道府県中学校長会相互が緊密な協調を保ち、中学校教育の振興を図り、国家社会の発展に寄与することを目的とすることが示されております。

現在、中学校教育を巡る課題が山積しております。その課題の中には全国の中学校に共通のものもあれば、各地区、自治体ごとに個別に抱えるものがあります。東日本大震災や昨年の熊本地震の被災地などで、一日も早い復興と教育の正常化に向け取り組んでいる先生方もいらっしゃるが、災害の風化防止に取り組んでいらっしゃる地域もあります。各ブロックの副会長、各都道府県の理事、事務局とも緊密な連携を図り、全国の会員の英知を結集して取り組んでまいりたいと考えております。

おりしも、今年は中学校教育70年目となる節目の年であり、10月には東京国際フォーラムにおいて「中学校教育70年記念 第68回全日本中学校長会東京大会」の開催を予定しております。

これまで、長きにわたって私たちの諸先輩方が築かれ継承されてきた70年という時間を縦軸と考え、全国各都道府県中学校長会相互の緊密な連携を横軸と考えれば、その「交点」にあたるのが本年度の全日中であると考えております。

結びになりますが、本年度の本会の充実に向け、これまでの歴代会長はじめ諸先輩方が築かれ継承されてこられましたことを受け継ぎ、「実践もあり理論もある教育の実践的専門家集団」としての役割を果たしていくため、全日本中学校長会長として皆様とともに歩んでいくことを、本日、この場でお誓い申し上げ、就任のあいさつといたします。